



ブランド商店街あいち

豊川稲荷美人おかみの会 稲美会

豊川市



キャッチフレーズ

笑顔のおかみさんに逢える街

事業実施の背景

日本三大稲荷のひとつと言われ、多くの参拝者が訪れる豊川稲荷。この周辺の商店街は、古くから観光商業地として発展してきたが、一時は、周辺への大型店の進出などにより客足が減り、空き店舗が増えるなど衰退傾向にあった。このような中、危機感を抱き、低迷する商店街をなんとかしたいとの思いを抱いた稲荷周辺の商店の女将さんたちが集まり「豊川稲荷美人おかみの会 稲美会」を結成。当初は相互の交流、情報交換からスタートしたが、今では女将さんならではの感性を活かして街づくりに参加しようとイベントの実施やおもてなし活動に取り組んでいる。

事業の概要

【観月会の開催】 - 今宵月見て・・・風流いたしませうか「お月見夜曲」 -

稲美会と豊川稲荷との交流を兼ねて、お月見の会を開いたのがきっかけ。日本古来の文化と風習を次の世代に伝え、豊川稲荷様の境内で、月を愛でるといった趣のある風情を、街を訪れる多くの方にも楽しんでいただくため、平成5年から実施。昨年で15回を数える。

竹行灯が夕闇を照らす頃、境内の落ち着いた雰囲気の中で抹茶の接待に始まり、尺八や三味線演奏、醸し出される幽玄の世界に訪れる人は皆魅せられ、有料のイベントでありながら、毎年300人以上を集客、10周年の際は500人の人が訪れ、固定ファンも多い。



ポスターや案内状、当日の座布団、お土産の和紙製の絵葉書製作や会場設営など、準備から当日の運営まで、おかみさん全員まさに一丸となって行っている。おかみさんならではの手づくりこだわりの一方、ネットワークもフル活用し、書道の先生にチケットに一筆入れていただいたり、ポスターの写真をセミプロの写真愛好家に撮ってもらうなど周辺の人の協力も得て、クオリティの高いイベントに仕上がっている。

【おもてなし・美化活動】

平成15年に本県で実施された「全国育樹祭」で使用された三河材のプランターやベンチを活用、季節ごとの花を植え、来訪者の眼を楽しませ憩いの場を提供しているほか月1回メンバー総出で駅前の清掃活動を実施。

また、多数の参拝客が訪れる正月にはのぼりや7mの巨大門松を設置、来街者におもてなしの心意気を示している。



事業の効果

- ・ 昼間の参拝客が途絶え寂しくなった夜の街に、新たな魅力を加えることができた。
- ・ 女将さんたちの活動に触発された旦那衆を始め、幅広い地域の人々のまちづくりへの関心、やる気を喚起、高揚している。

事業の課題

- ・ 女性ならではの感性、おもてなしの心を活かして、「もう一度訪れたいくなるような活気溢れる商店街」を目指して活動すること。
- ・ 駅前の清掃活動など、地道に継続して取り組んでいくこと。

商店街の基本データ

名称：豊川稲荷美人おかみの会 稲美会

会長 佐藤早苗

所在地：〒442-0031

豊川市豊川西町19番地

電話：0533-86-3721

構成員：約15名

URL：http://www.yui.or.jp inami/

